

2023 しいじい森林塾(基礎編)活動報告

一般社団法人塩尻市森林公社

山づくりを楽しもう!



- ☆山づくりの基礎的な技術と知識の習得
- ☆山づくりの楽しさや面白さや魅力、やりがいの伝達
- ☆参加者同士の情報交換コミュニティの場づくり
- ☆森林施業者の裾野拡大(多様な担い手の育成・確保)

1日目

令和5年10月7日、14日(2日間)開催
参加者3人、講師、ボランティア、公社職員

1. 座学

チェーンソーの基本的な知識から構造まで、実際にチェーンソーで示しながら、講師が説明をします。



2. 玉切り練習

上から、下から、さまざまな切り方で、玉切りの練習をします。



3. 受け口・追い口づくりの練習

はじめは、方向を気にせずに受け口を作ります。そして、ポールを使い、ポールの方に受け口が出来ているかを確認しながら、受け口・追い口づくりを反復練習します。

受け口がポールの方に向いていない場合は、講師や公社職員が修正を促します。

4. 森林調査

テープで囲った正方形の調査地に何本の木が植生しているか、植生している樹種は何か、胸高直径はどのくらいかなど、林内の調査を行います。

その後、調査を基に、何本切ればよいのかなどを考えます。



2023 しろじい森林塾(基礎編)活動報告

2日目

5. 伐倒

伐倒に入る前に受け口・追い口の練習をします。
今回は列状間伐のため、公社職員が事前に選木をしています。



根張りを最初に落とし、狙った方向へ受け口・追い口を作ります。受け口を作ったら、講師が方向を確認し、少しずつ修正をしていきます。

伐倒後は、自分の作った受け口・追い口が正しくできているか、つるは残っているかなど反省をして、次の木を倒します。

伐倒をする際は、必ず手動式牽引ウインチと滑車を使用し、安全に気を付けて実施します。

チェーンソーの目立て

全ての作業が終了したところで、目立てを行います。

目立て後は、チェーンソーの刃が切れるかどうかを玉切りをして出た木くずを見て、確認します。



参加者感想

- ・知識を得ることが出来た。
- ・今回の講習で得た知識や技術を今後活かしていきたい。
- ・また受講したい。
- ・実家の山を良くしようと改めて強く感た。
- ・本当に知らないことばかりで、とても勉強になった。